



平成30年度

金太郎まちづくり 活動発表大会

～ 地域の力でおやまを盛りあげる ～

第1部	各地域まちづくり推進協議会 活動発表	13時10分～
	小山高校インターンシップ体験発表	14時05分～
第2部	「ゼミ学生等地域貢献推進事業」発表	14時40分～
	「鉞創塾」成果発表	15時00分～

各地域まちづくり推進協議会 活動発表

発表順

- 1 成美地域金太郎計画2020推進協議会
- 2 明倫地域金太郎計画推進協議会
- 3 足柄地域金太郎計画推進協議会
- 4 北郷地域金太郎計画推進協議会
- 5 須走まちづくり推進協議会



金太郎まちづくり
活動発表大会

成美地域金太郎計画2020




笑顔があふれ、成長する美しいまち 成美

笑顔があふれ、成長する美しいまち 成美




**笑顔があふれ
成長する美しいまち 成美**

笑顔とにぎわいがある作る
地域を目指そう！

三所しつ	農工観光
お祭り	健康
芸術文化	環境共生

楽しいおもてなしの雰囲気と
文化を学び、育もう！

運動	伝統文化
環境共生	農業

安心して生活するため、
日頃から心のケアを進めよう！

災害対策	都市基盤
------	------

地域全体で、楽しい心を育った
子どもたちを育てよう！

子育て	高齢
教育	交通安全

30ページくらいの小冊子です。

成美地域金太郎計画2020推進協議会 

☆成美地域の将来像

笑顔があふれ、
成長する美しいまち成美



○基本方針

1. 地域のきずなの輪を広げ、コミュニケーションの活発な地域を目指そう！
2. 笑顔とにぎわいがあふれる地域を目指そう！
3. 地域全体で、美しい心を持った子どもたちを育てよう！
4. 美しいふるさとの景観と文化を守り、育もう！
5. 安心して生活するため、日頃からの備えを進めよう！

平成26年度に推進協議会では、

- ①「健康福祉会館のリニューアルについて、みんなで考えようサロン」の開催
- ②「金時公園のリニューアルについて、みんなで考えようサロン」の開催

H27年度に、サロンの意見を反映して
リニューアル工事が完了。



H28・29年度 コミュニティまつりを開催！

H29年度に、サロンの意見を
反映して整備工事が完了。



H30年度 より利用しやすい環境に！

健康づくりの拠点

地域コミュニティの拠点

小山町のシンボル

安全・安心の遊び場

絆づくり

集いの場

コミュニケーション

活気・賑わい

元気な子ども







「もみじ祭り」をやさしい光で包み込む 竹灯籠でのライトアップ

【実施日】

平成30年11月21日～23日



140本の竹灯籠を制作



協議会のメンバー
で設営





これらのイベントなどを通して

**成美地区を
元気で活気のある地区にしたい！！**

と、考えています♪

サロンの開催

子育てが楽しい

もみじまつりの
ライトアップがきれい！！

H26に開催！
たくさんの意見が出た！！

若者が集まる
地区

告白が成功しそうなのは次の4つのうちどこ？



正解は・・・

①夜景のきれいな場所



このクイズ、まちづくりに活かせる！！

人は、その場の雰囲気流されやすい。

協調性を大切にする。



テーマパークなら・・・

言い換えると、「人は雰囲気で動く」と言える。

楽しい雰囲気、明るい雰囲気を作ると、
地域に活気がでくる！

よって、
“楽しい雰囲気づくり!!”
これを一番に考えて、
みんなが**気楽に、気軽に、**
ちよつと**行ってみようかな？**
ちよつと**お手伝いしてみようかな？**
と思えるような、住民参加型の
楽しいまちづくり。を目指しています。



御清聴ありがとうございました。

おわり



引き続き、明倫、足柄、北郷、須走の
思わず参加したくなっちゃう、思わず
お手伝いに行きたくなっちゃう、素敵
な取組の活動発表が始まります！

やる気の

明倫地域金太郎計画推進協議会 活動報告

<メンバー>

湯山	伸介	野木	雅代
岩田	慈史	新井	慎
荻原	葵		

発表の流れ

- 1 背景
- 2 活動報告
- 3 まとめ
- 4 来年度の予定

1 背景

明倫地域金太郎計画推進協議会の前組織である
菅沼地域まちづくり協議会のイメージと5つの柱

「谷戸川にいだかれ
水音ひびく
やすらぎの里」

- ・ 歴史と自然環境が楽しめるウォーキングのまち
- ・ 湧水と谷戸山を活かしたまち
- ・ 地域の絆で誰もが笑顔で輝けるまち
- ・ 安心安全な道が整ったまち
- ・ 何でもそろい、便利に生活できるまち

平成30年度明倫地域金太郎計画推進協議会は
前頁の柱を大切にし、

行動する明倫地域金太郎計画2020

に基づいて活動してきました！！

2 今年度活動報告

- ① ホタル観賞会
- ② 健康ウォーキング（ホタル観賞）
- ③ ジャンボカボチャ栽培
- ④ 谷戸山ハイキング

明倫地域のホタルが生息する場所を観賞



普段は目にしない幻想的な世界。・.+°



ぬり絵を展示して頂きました！！



2-② 健康ウォーキング(杵舩観賞)



ホタルを観ながらウォーキング♪








星座早見表や健康マイレージ、
子ども用スタンプラリーカード
なども用意しました☆

2－③ ジャンボカボチャ栽培

春



カボチャの植付

➡

夏



カボチャの計測

➡

秋



カボチャの収穫

8月25日 早朝のカボチャの生育確認&計測風景







2-④ 谷戸山ハイキング



平成30年11月4日(日)開催!

別当小学校へ9:00まで集合! (詳細は裏紙) 雨天中止
※ 中止の場合は、当日朝6:30に連絡放送します。

ハイキングの途中でビンゴ大会もやっちゃいます!!

(豪華賞品が当たるかも?)

ハイキングの後は聖治・坂下公民館でとん汁と焼き芋をおもてなし!

※ 雨天時の場合でも、おもてなしは11:30頃から聖治・坂下公民館でやっているのだから!



※ 参加費 別当地区に住んでいる方 (小学生は大人と同様で来て可)
※ ハイキングに参加した50歳以上の方のみに (おみやげ、お弁当、子供、お菓子など)
※ 参加費 参加費、お弁当、お菓子、お茶、お水など
※ 参加費 当日、別当小学校で受け付けします
※ ルート 下関市街

「谷戸山の自然を楽しもう!」

※ 2時間程度の行程ですが、コースは多少変更となる場合があります※



問合せ 別当地区民生委員協議会
別当地区民生委員協議会 谷戸山
別当地区民生委員協議会 電話 70-5115



歴史ある神社仏閣等から学ぶ



地域の方が作ったサツマイモや里芋を…



ホクホクの焼き芋と熱々の豚汁に♪♪





3 まとめ

◆ 平成30年度の推進協議会は…

- ・ 歴史と自然環境が楽しめるウォーキングのまち

➡ ホタル 健康ウォーキング カボチャ 芋堀り ハイキング

- ・ 湧水と谷戸山を活かしたまち

➡ ホタル 健康ウォーキング カボチャ 芋堀り ハイキング

- ・ 地域の絆で誰もが笑顔で輝けるまち

➡ ホタル 健康ウォーキング カボチャ 芋堀り ハイキング

誰もが**笑顔で輝ける**ように、
地域の「**みんな**」で活動を行ってきました！

明倫小の児童が作ったカレンダー♪



4 来年度の予定

- ・ 恵まれた**地域資源をみんなで活用し**
- ・ 育てたものを収穫し、**みんなで楽しみ**
- ・ 明倫地域**みんなが笑顔で**いられるために
引き続き活動していきます！！



ご清聴
ありがとうございました！

足柄地域金太郎計画推進協議会 【活動報告】

農林課:湯山 光司 税務課:鈴木 吏 総務課:稲 庄隆
都市整備課:藤曲俊平 くらし安全課:高橋里奈子



- 1 足柄の“大好き”を集めよう、磨こう
- 2 足柄の“大好き”を見せよう、伝えよう
- 3 足柄の“大好き”を体験しよう、育てよう
- 4 足柄の“大好き”をつなごう、広げよう
- 5 足柄を“大好き”な人たちと会って話そう
手をつなごう

○イブ・フェスタ

[illegible][illegible]

○イブ・フェスタ



○フィールドワーク

足柄の歴史再発見！ 参加費無料

フィールドワーク

START 足柄駅

ゴール 足柄駅

時間 平成30年10月27日(土)
時間 START---9時 GOAL---12時
集合場所 JR足柄駅ロータリー

お問い合わせ先 足柄支所 0550-76-1134
主催：足柄町議会 足柄町民会 協力：足柄町民会





○リアルハロウィーン

[illegible]



子どもの祭りだ！



★リアルHalloween★










仮装した子どもたちで「Trick or Treat」として
 歩くのが、ハロウィーンイベントの醍醐味！
 チョコ・オー・ランタンがあるお店でお菓子を買って、
 定額でツインでLunch party！

13:00～ Trick or Treat ☆
 仮装した子どもたち
 歩くのが、ハロウィーンイベントの醍醐味！

14:30～ Halloween Party
 仮装した子どもたちでツインでLunch party！
 定額でツインでLunch party！



13:00～14:30

(子ども参加型イベント)

★ 参加費 ★

子ども参加型イベント
 参加費は1名1名100円(税込)です！

【参加費】
 児童・小学生以下 1名 500円
 保護者・引率者 1名 500円

※お申し込み後、お申し込み日より1週間前までに、お申し込みください。
 10/24(金)までにお申し込みください。



★ 申し込み方法 ★

お申し込みは、お申し込みより1週間前までに、お申し込みください。

氏名: _____

氏名: _____

保護者氏名: _____

住所: 小山市 _____

電話番号 { _____ } { _____ }

生年 { _____ } 月 { _____ } 日 { _____ }

生年 { _____ } 月 { _____ } 日 { _____ }

〒 _____ 市 _____ 区 _____ 丁目 _____ 番 _____ 号 _____

★ 申し込み先 ★

お申し込みは、お申し込みより1週間前までに、お申し込みください。

○リアルハロウィーン



○リアルハロウィーン

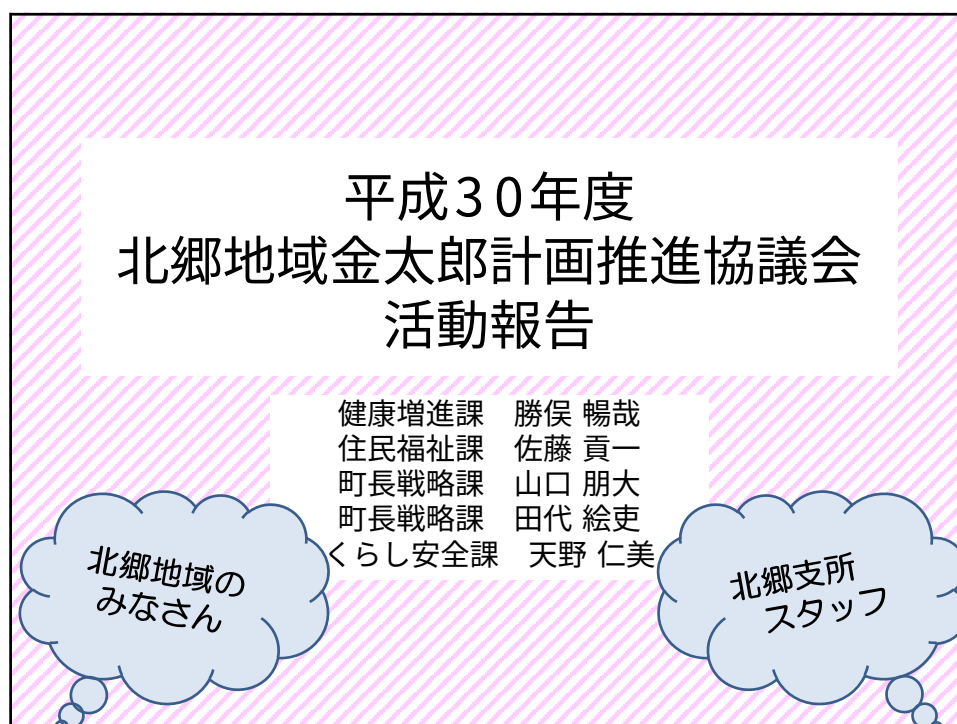
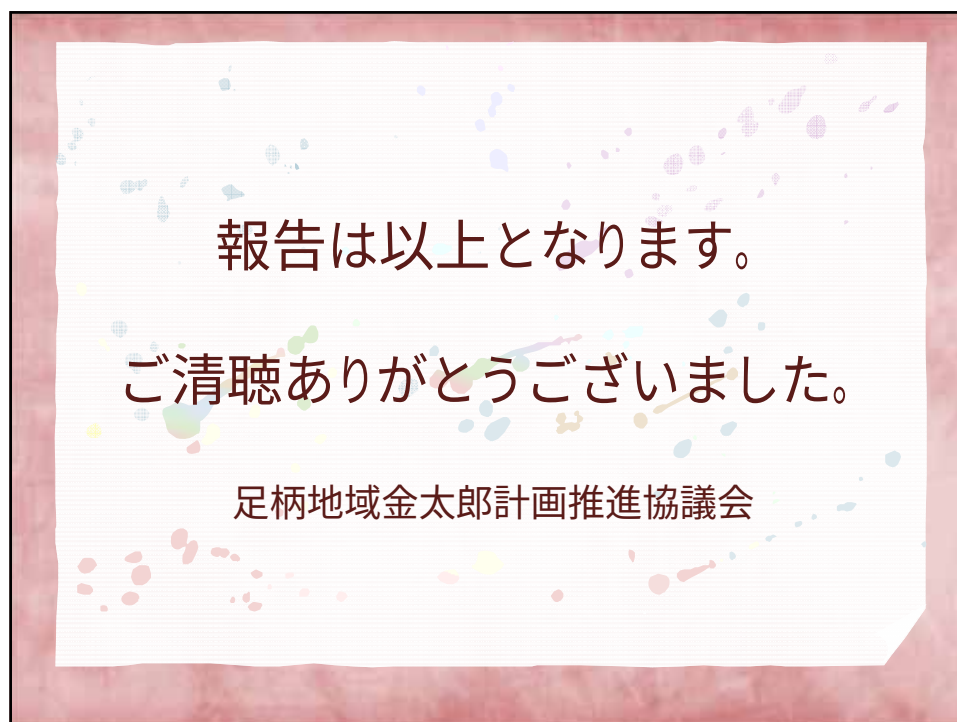


○新春連凧揚げ大会



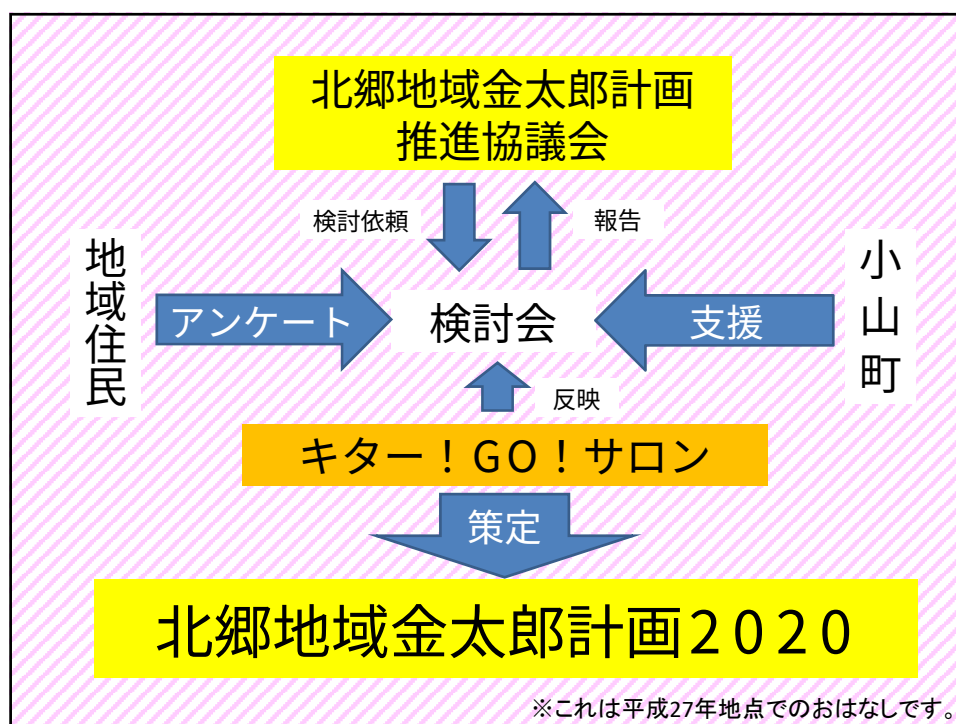
○地域版広報誌『足柄だより』の作成

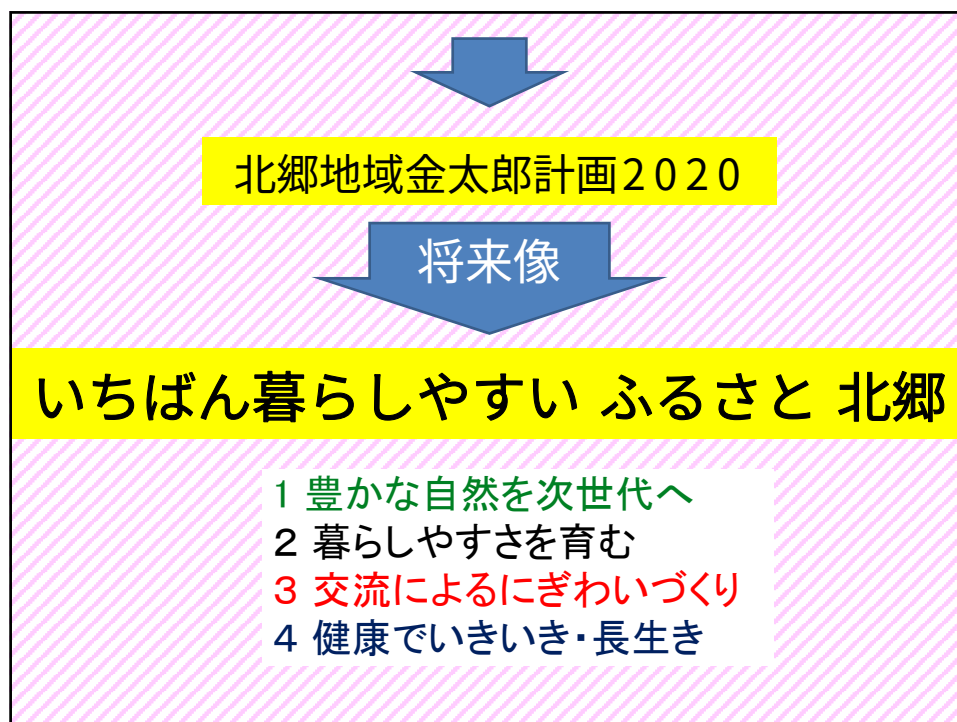




まずは、おさらい

北郷地域金太郎計画2020は
どうやってできた？





さて、平成30年度は？

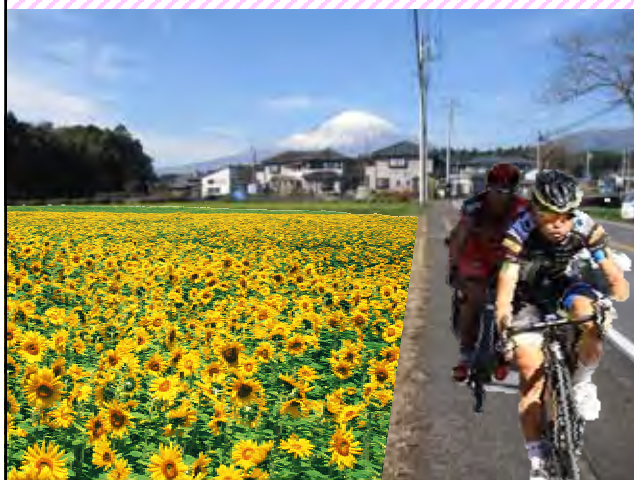
- あいさつ日本一、北郷を目指して！
- カフェで賑わいづくり！
- 夏の風物詩「夏祭り」をさらに楽しく！
- 富士山の眺望を活かした景観づくり
- 北郷健康ウォーキング
～歩いて知る、地域の魅力を再発見！～
- 北郷地区総合防災訓練（前編）

1 豊かな自然を次世代へ

休耕田を利用したお花畑づくり
(継続事業)

休耕田を利用したお花畑づくり

～2020年のオリンピックを目指して～



発信！

オリンピックを通じて
北郷の美しさを
全世界へ



2 暮らしやすさを育む

あいさつ世界一、北郷を目指して！
(継続事業)

あいさつ世界一、北郷を目指して！



場 所：全11か所
 実施回数：年間4回
 参加者：約280人

3 交流によるにぎわいづくり

- ①夏の風物詩「夏祭り」をさらにたのしく！
 (継続事業)
- ②カフェで賑わいづくり！ (継続事業)

①夏の風物詩「夏祭り」をさらにたのしく！



今年も5・6分団の消防団員にご協力頂き、
手持ち花火で北郷の夏祭りを盛り上げました。

②カフェで賑わいづくり！

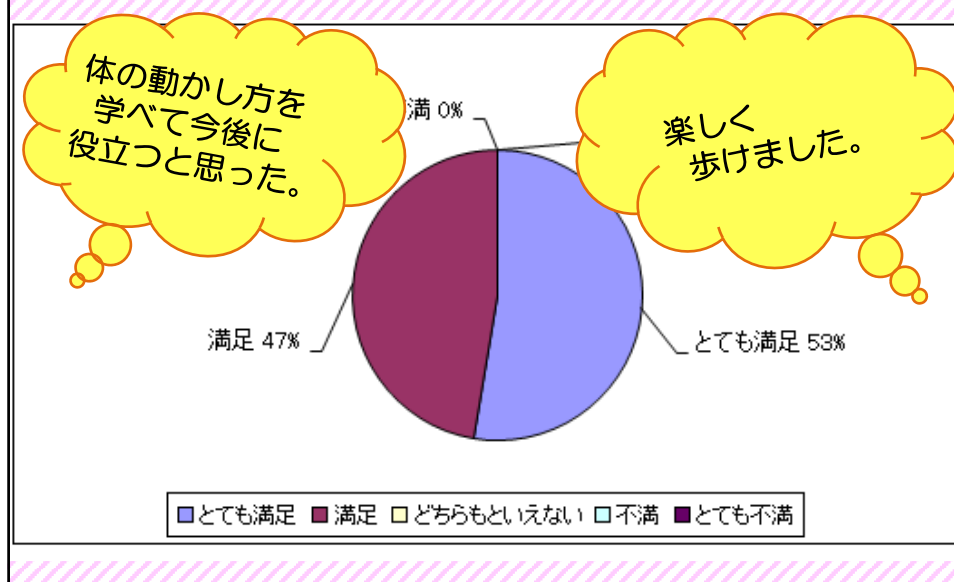


4 健康でいきいき・長生き

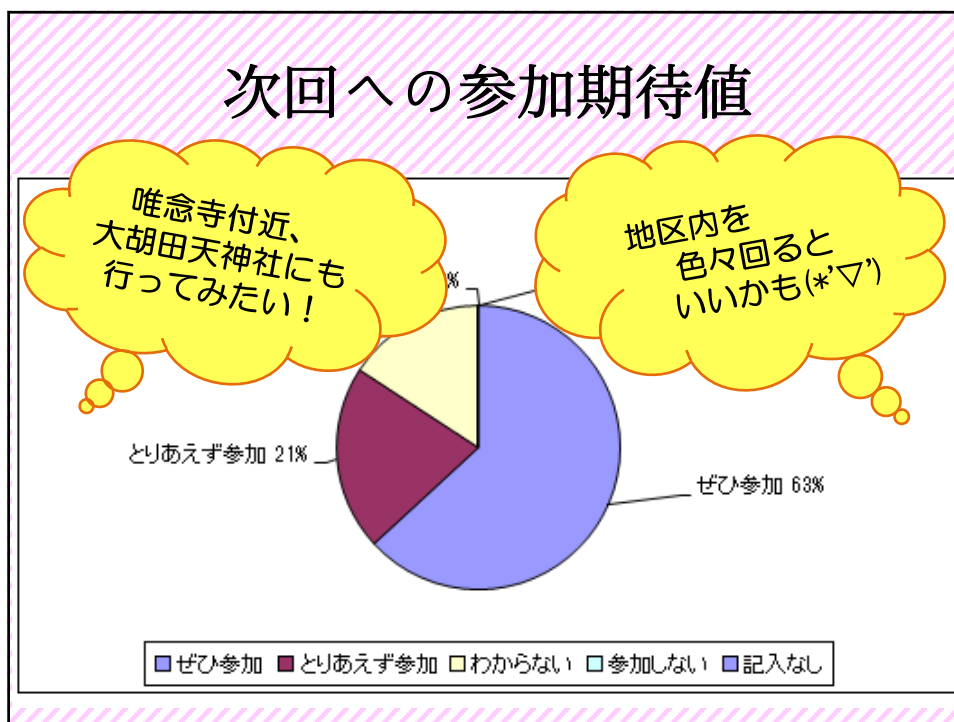
北郷健康ウォーキング
 ～歩いて知る、地域の魅力を再発見！～
 (新規)



ウォーキング満足度



次回への参加期待値



歩きながら地域の魅力を再発見できました！



北郷地区総合防災訓練（前編）

【対 象】

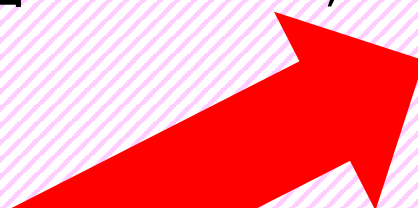
用沢区・棚頭区・大御神区・
中日向区・上野区・阿多野区・吉久保区

昨年度の防災訓練参加人数

1,365名

今年度の防災訓練参加人数

1,490名

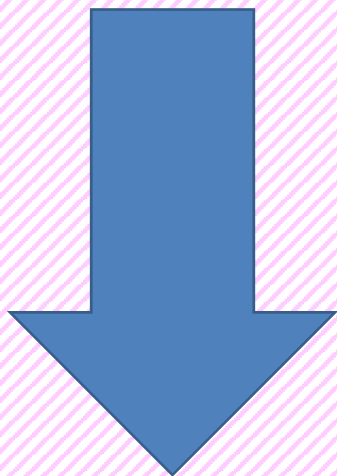




さあ、今年は！！
北郷地区総合防災訓練（後編）
一色・上古城・大胡田・下古城
の皆さんですよ！！

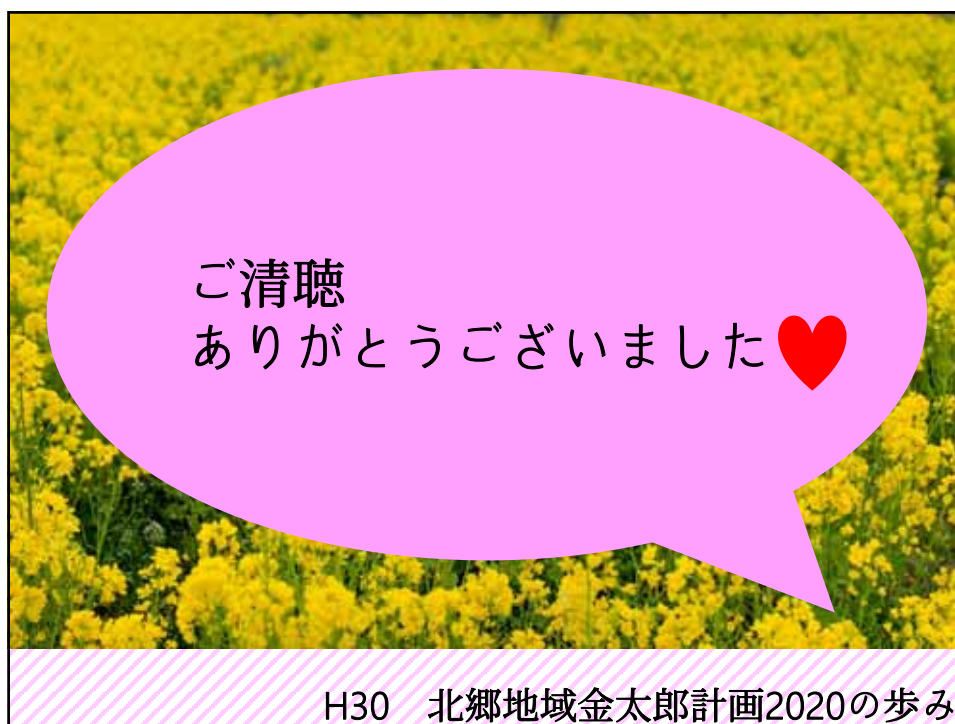
みんなの為になる防災訓練に
是非ご参加ください！！

さて、新元号の私たちは？



“いちばん暮らしやすいふるさと”

北 郷を目指して
地域の皆さんと一体となって
これからも活動してきます！



最初に動画をご覧ください



・動画をご覧ください

7月1日お山開きウォーク(小富士山頂)



す 住むことが 楽しい	“住みたい” 気持ちを抱けるまち ・須走暮らしの魅力体験発信 ・富士学校関係者の定住促進	“住み続けたい” 気持ちがつまむまち ・魅力的な生活拠点の形成 ・地域ぐるみで子育て支援 ・健康・医療サービスの利便性向上 ・幼保小中(学校)連携	暮らしの安全・安心を 高める ・顔の見える地域づくり ・富士学校や他の自治体等との協力による災害対応、救急医療の体制構築 ・備蓄など災害への備え ・生活必需品全般をストックできるスーパー等の誘致
ほ 場のかで 観光・交流	世界遺産のまち須走を アピール ・須走口富士登山の再興 ・国道138号IC周辺玄関口機能の充実 ・本通りの散策機能強化 ・道の駅、浅間神社、本通りの回遊性強化	須走の資源の 磨き上げ ・立山、豊富な水等自然や歴史資源の活用 ・公園等の有効活用	新たな観光交流 資源の創出 ・新たなイベントの創出 ・市民活動や起業等チャレンジ活動への支援
ら 来訪しやすさ 向上	広域圏での存在感 向上 ・ぐるり富士山風景街道など広域連携事業への参画 ・富士学校等での既存広域集客イベントの活用	広域交通網整備に 併せた集客・誘導 ・道の駅すばしりの活用 ・新東名高速道路御殿場IC、(仮)小山スマートIC、及びR138号からの誘導機能充実	情報発信力の 向上 ・マスコミのフル活用 ・ホームページ、SNSによる情報発信強化 ・富士学校関係者への継続的な情報提供、口コミ活用



すばらしい隊 養成講座

【第1回講座】 富士山と須走を知る須走学
 日時 | 平成30年9月15日(土) 9:00~11:45
 場所 | 須走本宮富士信仰神社 社務所
 講師 | 飯田 孝子 氏 (飯田神社役員 代表)
 司会 | 藤子 氏 (須走町でなし隊 代表)

第1回「富士山と須走を知る」開講

第2回「富士山と須走を知る」トーク

メモを取りながら須走の歴史を聞く須走者のみなさん。

【第2回講座】 「話す・伝える極意」
 ～聴ける人になるために～
 日時 | 平成30年9月22日(土) 9:00~11:45
 場所 | 須走地区コミュニティセンター
 講師 | 飯田 孝子 氏 (須走町でなし隊 代表)

第1回「話す・伝える極意」について
 飯田 孝子 氏 (須走町でなし隊 代表)

第2回「話す・伝える極意」について
 飯田 孝子 氏 (須走町でなし隊 代表)

「話したい話のやり方」を体験して
 聴ける人になる。

1号で話したい話のやり方について
 聴ける人になる。



素晴らしい遺産を知りたい！

おしらしり隊 養成講座



【第3回講座】 登拝してみよう！五合目で富士講体験

日時：平成30年10月6日(土) 9:00～11:45
 場所：蘆原町五合目 山小屋「麓屋」
 講師：宮野 文生 氏（富士講第十二部 神楽坂馬場 登道）



①第1回 登学「富士山・富士講」とは？



②講義は新巻も有り、ふこーん社のおやむき(1)説明



③第2回 五合目麓屋・富士講体験 いよいよ山の中へ出発！



④富士山、五合目麓の景観



⑤途中の富士が静かになった。



⑥「八幡湯」 湯治場 富士山麓へ！ 後付登山者も入浴している。



⑦登山中に注意



⑧登道者や登山者も注意



⑨「おしらし」おしらし 紅葉がまわって、きれいな景色



素晴らしい遺産を知りたい！

おしらしり隊 養成講座



【第4回講座】 歩いて考える 五合目 小富士の魅力！

日時：平成30年10月14日(日) 9:00～11:45
 場所：蘆原町五合目 山小屋「登道士山荘」
 講師：栗山 千鶴 氏（富士山山荘 代官）



①第1回 登学「富士山」の歴史と講



②おしらし、おしらしを体験する



③おしらしについて、おしらしの説明



④おしらしについて、おしらしの説明



⑤おしらしの魅力について、おしらしの説明



⑥おしらしの魅力について、おしらしの説明



⑦おしらしの魅力について、おしらしの説明



⑧おしらしの魅力について、おしらしの説明

ロードレースコースをきれいにしました！



須走地区のみなさん！
須走がまるっとわかるすばしり番組
お手持ちのラジオで聴けますよ～！！

その名も・・・
須走まちづくり推進協議会 Presents

すばらしき須走！

◇放送時間◇
毎週月曜日 朝 6:30～
夜 19:00～(再放送)

11月26日まで
録音放送中～♪

◇聴き方◇
①お手持ちのラジオで
F M 86.3MHz に合わせる！
②パソコン・スマートフォンで
インターネット「富士山 GOGO I714」と検索！

GOGO863

③歌のリクエスト・メッセージ・私も出演したい！などは
(株)エフエム御殿場 御殿場市川島田 532-1
TEL:0550-84-0863 FAX:0550-84-5858

放送内容】

放送日 2018 年	内容
7月2日	富士山山開き ご来光ウォーキング (7月1日) パート1
7月9日	富士山山開き ご来光ウォーキング (7月1日) パート2
7月16日	クアオルト健康ウォーキング (7月1日) パート1
7月23日	クアオルト健康ウォーキング (7月1日) パート2
7月30日	クアオルト健康ウォーキング (7月1日) パート2 (第5週の為サービス再放送)
8月6日	学生レポーター (神保あおい さん) にインタビュー
8月13日	須走夏祭りの模様 (恒成・神保) パート1
8月20日	須走夏祭りの模様 (恒成・神保) パート2
8月27日	8月6日～10日 姉妹町等富士登山体験学習 インタビューパート1
9月3日	8月6日～10日 姉妹町等富士登山体験学習 インタビューパート2
9月10日	8月6日～10日 姉妹町等富士登山体験学習 インタビューパート3
9月17日	「須走ランチ特集」(おらがの・長楽・滝口わさび園・松葉寿司・まるやす) まるやす店舗レポート
9月24日	すばらしき障害者講座 第1回 (9月15日)
10月1日	須走小学校 富士登山 生徒の声 パート1
10月8日	須走小学校 富士登山 生徒の声 パート2
10月15日	すばらしき障害者講座 第3回 (10月6日)
10月22日	須走花の会様へインタビュー
10月29日	東口本宮富士浅間神社 参拝の作法 横石橋様インタビュー
11月5日	東口本宮富士浅間神社 紅葉祭について 横石橋様インタビュー
11月12日	クアオルト健康ウォーキング (10月21日)
11月19日	紅葉祭 来客者に神保インタビュー パート1
11月26日	紅葉祭 来客者に神保インタビュー パート2



小山高校インターンシップ 体験発表

- ・ 1年 2 組 服部 菜都実さん
- ・ 1年 1 組 鈴木 志歩さん
- ・ 1年 2 組 榊 咲良さん
- ・ 1年 3 組 椎屋 波音さん



金太郎まちづくり
活動発表大会

平成30年度 小山高校 1年生 夏季インターンシップ報告会

住みよい小山町を作るために

服部菜都実
都市整備課

発表者紹介

1	都市整備課	服部菜都実
2	町長戦略課	勝又優斗
3	オリンピック・パラリンピック推進課	鈴木志歩
4	総務課	榊咲良
5	小山で暮らそう課	椎屋波音

1. インターンシップの目的

- 小山町唯一の「地域に根ざした高校」として、将来地元で貢献できるような頼もしい人材を育成する。
- 職業の経験を通じて、多様で変化の多い社会を生き抜くための主体的で能動的な能力を育む。
- インターンシップを通して地元小山町の経済・行政について学び、社会の担い手として主体的な姿勢を育てる。

国登録文化財である豊門公園内の
豊門会館・西洋館を大規模修繕し、
歴史遺産として歴史と文化を
感じる観光地にしていく計画

①都市豊
資料を綴

②住宅を

③豊門公園にて草取り、
豊門公園と西洋館の観光に向けての開発の
話を伺う

3. 学んだこと

① 小山町が抱える課題 またそれに対する対策

- ・小山町役場の方に聞くまで、小山町の抱えている問題に気付かなかった。
- ・**少子化**や**人口減少**のほかにもたくさんの問題をかかえている
- ・それらを解決すべく町全体でのイベント、行事を通して**町を盛り上げている**

② 仕事にやりがいを感じることで より楽しく仕事ができる

仕事をやるうえで大切な事は**やりがい**を感じること

自分たちの立てた企画で町民が楽しんでいる姿を見たり、建てた家に家族が住み、楽しそうに暮らす姿を見るとやりがいを感じる。



自分のためではなく、他人の為に働く
人を笑顔にできる仕事は素晴らしいと感じた

4. 小山町

- ①人口減少
 - 昭和35年
 - 平成2年
 - 平成27年

昭和35年から現在まで
25%も減少している！

東京オリンピックや
豊門公園の大幅改修、
ふるさと納税などで
小山町をアピール
→観光客の増加・注目度UP

4. 小山町への提言

②足柄駅の集客率の改善

小山町の主な交通手段となる足柄駅
→しかし、小山高生以外はあまり利用しない

主な理由

- ・電車の本数が少なく、利用しにくい
- ・足柄SAなどの施設に行くには少し遠い
- ・遠出するにはバスの方が便利



4. 小山町への提言



- ・足柄SAや御殿場アウトレット行きのシャトルバスを導入
- ・小山町の名所旧跡・住宅街を巡る町営の循環バスの導入
- ・小山町民全体が利用しやすいようカフェ、売店を入れて駅周辺を賑やかに



4. 小山町への提言

富山県舟橋村の事例

駅の利用者数の減少を危ぶみ、
駅舎兼村立図書館を建設。一日の乗客数が395人から建設後は500人を超える乗客数となった。
それにより通勤・通学時間帯の電車本数が3本から6本に増えた

～先を見据えて今できること～

オリンピックパラリンピック推進課
鈴木志歩

<実習内容>

《1日目》

- 小山町役場内の見学
- オリンピック・パラリンピックについての説明
- 東京2020オリンピックに向けた開催700日前・コース決定イベントin小山町の準備
- 記録用ボードの作成

<実習内容>

《2日目》

- 東京2020オリンピックに向けた開催
700日前・コース決定記念イベントin
小山町の開催場所準備
- スピードに挑戦! 『200mタイムア
タック』の運営

オリンピック

「肌の色、言葉の違いはあっても、
私たちは1つなのですよ」

～オリンピック開催に当たり 抱える問題～

- 交通機関の混雑
- 宿泊施設の確保
- 会場の建設コスト
- 福島復興

会場建設コスト

オリンピックのコンセプト≫コンパクト五輪

But

予想費用=3兆円

原子力発電所問題

<メリット>

- ・コストが安い
- ・二酸化炭素の排出が少ない
- ・燃料（ウラン）の輸入が安定している
- ・日本の技術をつかえる

<デメリット>

- ・危険性が高い
- ・事故が起きたとき修復が難しい
- ・風評被害



小山町への提言

- オリンピックを機に富士山など、小山町の豊かな自然の魅力を伝える。
→ 自然保護活動を推進する。
- コストをあまりかけない心のこもった手作りの良さを広める。
- Twitter、InstagramなどのSNSを利用した情報発信。
→ 小山町のメガソーラーを世界に向けて発信する

私は夏休みのインターンシップを通して、小山町
で働く方の温かさに再度触れ、やはり良いものだ
ありがとうございました。
なと思いました。

きっと私とインターンシップを行わせてもらった
6人も同じように感じていると思います。

2日間のインターンシップではありましたが、



「金太郎まちづくり発表大会」
～今私たちができること～

榊 咲良

総務課

- ・ 臨時職員の出勤日数・時間のチェック
- ・ 子ども手当の金額の確認
- ・ 職員の給料の確認

- ・ 小山町記念式典の受付、準備、片づけ
- ・ 役場職員の健康診断受付の手伝い
職員番号をパソコンに入力

体験を通して学んだこと

①挨拶の大切さ

～笑顔であいさつ～

挨拶はコミュニケーションの第一歩。

挨拶＝コミュニケーション

つまり、挨拶ができない人は、コミュニケーションができないと思われてしまう。

②臨機応変に対応

～周りを見れる高校生に～

部活動や、係の仕事など高校生活の中で臨機
応変に対応する場面がたくさんある。



常に予想して行動することにより、思わぬこ
とが起きても焦ることなく

行動することができる。

また、目的を考えみると自分の行動を客観的
に見ることができる。

小山町への提言

- ・ 小山町は、人口減少が進行していて、
高齢者が多く、若者が少ない。



地域の人々で助け合って大きな力にし、
協力する。

- ・ たくさんの若者を呼び込んで
小山町を活性化させ、よりよい町にする。
- ・ 具体的に、どうしたらいいか？
他の自治体の事例を研究しました。

今現在の小山町の人口 ... **約1.9万人**

小山町とほぼ同じ人口の ...

長野県軽井沢町の取り組んでいることとは？

軽井沢町は、**リゾート会議都市軽井沢**推進に向け
軽井沢リゾート会議都市推進協議会（KRCC）と
協力して取り組んでいる。

1998年に長野県でオリンピックが行われたことにより大規模な整備（ホテルなど）を経験している。

軽井沢には大規模なリゾートホテルや老舗ホテルなどあらゆるタイプの宿泊施設が数多くあり、パーティーやウェディングに利用されている。

軽井沢の事例に学ぶ ... **小山町のすべきこと**

○小山町でもホテルなどがオリンピックを機に整備された



人を呼び込むために、若者が集まるイベントを開催してにぎわいを作り出す

○オリンピック後も、引き続き人を呼び込むための努力を怠ってはならない！

（大人も子供も楽しめる娯楽施設を造る）



観光地として注目される小山町に！

小山に人を呼ぼう！

発表者 椎屋波音

1. 個人目標

小山町役場がどのような仕事をしているのか、仕事内容を知る。

2. 実習先概要

- ・配属課 小山で暮らそう課
- ・職員数 8名

3. 実習内容

- 小山に住んでくれる人が増えるような案を考える

小山町に住む住人が増えるように工夫しているところを実際に見て回った。

- 区ごとにチラシの数を分布する

- 小山町のPR画像の作成

金時公園、浅間神社、道の駅、誓いの鐘などの撮影

4. 小山町への提言

① 背景と課題

人口が少ない！！18754人！！

面積：139 km²

小山町から若者を中心に外部へ流出している！



4. 小山町への提言

②自分の意見、改善策

1. 高校を卒業して進学した人に帰ってきてもらう
2. 小山町出身でない人を呼び込む
3. そのためにネットを活用して小山町特有のPRをする

例. 婚活パーティー

小山町学生向けUIターン促進事業

小山の未来創造プロジェクト

ママのためのスキルアップ講座、ふるさと回帰フェア

5. インターンシップ後、調べたこと

① …そこに住む市民の人口のこと。

…その町にイベントや観光などで訪れる人口のこと。

※定住人口を増やし続けるのは至難の業だが、交流人口を増やすことは、工夫次第で無限大の可能性があると思います。

6. 学んだこと、感じたこと

①学んだこと

1. 情報はネットやパンフレットだけでなく現地で
実際ミルことが大切
2. 都会の真似をして人を集めるのではなく、
強みを生かす施策
3. 固定観念にとらわれない

6. 学んだこと、感じたこと

②感じたこと

1. すでに多くの人口増加のための案が
考えられていて驚いた
2. 働いている方々がすごく楽しそうに
働いていた
3. 足を使うことの大切さ

ゼミ学生等地域貢献推進事業発表

☆金太郎を活用した町の広報戦略☆

常葉大学 竹安ゼミ
日本大学短期大学部 大久保ゼミ



金太郎まちづくり
活動発表大会

金太郎を活用した町の広報戦略

常葉大学 竹安ゼミ
日本大学短期大学部 大久保ゼミ





金太郎の、何を知っているか？

Q1. 金太郎は何を
担いでいるのか？

A. 鉞（まさかり）



金太郎の、何を知っているか？

Q2. 大人になった金太郎が
仕えたと言われている人物は？

A. 源頼光

金太郎の、何を知っているか？

Q2. 昔話の「金太郎」で
最後に金太郎は何をした？

A. 武士になって鬼を退治する

課題の概要

小山町は金太郎誕生の地であり、金太郎ゆかりのスポットが数多く残されています。町では金太郎をシンボルとして様々な場面でPRしており、金太郎のシンボルデザインを公共の出版物や金太郎に関連する商品、報道関連のバックパネル等への提出により、**観光のアンテナ**として活用しています。

また、小山町観光振興計画アクションプラン内でも金太郎をシンボルとした観光の活性化を図るため、目標を掲げ様々な取り組みを行っております。しかし、「**金太郎生誕の地 おやま**」という知名度は未だ低い状況にあります。

希望する調査研究内容や期待すること

多くの人に「金太郎生誕の地 おやま」を認知してもらうための、金太郎の効果的な活用方法についての調査、研究

金太郎を活用した町のPRには、何が足りないのか
どうしたらより多く人に周知してもらえるか等

連携団体及び協力団体

小山町DMO準備室

小山町観光協会

道の駅ふじおやま

御殿場DMO







金太郎の統一

研究内容

- ・ 日時：2018年09月17日（祝・月） 10:00～17:00
- ・ 場所：道の駅ふじおやま、小山町内全域
- ・ 天気：晴れのち時々雨
- ・ 調査員：常葉大学 学生 8 人
日本大学短期大学部 学生5人



調査内容

- ① 小山町での金太郎の認知度調査
道の駅ふじおやまにて、対面調査を行う。
→小山町の金太郎についてのクイズ（15問）
- ② うろおぼえ金太郎お絵描き実験
金太郎クイズに回答した調査協力者に対して、
「うろ覚え」で金太郎のお絵描きに挑戦してもらう。
- ③ 小山町内の金太郎の実証調査
小山町内に存在するあらゆる「金太郎」を見つけ出し、
マップに落としこむ。
→ カードゲーム（ポケモンGOをイメージ）の
基礎データを作成

① 小山町内での金太郎の認知度調査

その1：道の駅など、人の多い場所で対面調査

その2：小山町民（小・中・高生含む）に対する
認知度調査



日程の関係上、道の駅ふじおやま だけで対面調査を行った。小山町の金太郎について15問のクイズに答えてもらい、うろおぼえ金太郎の絵を描いてもらい、共通点などを分析した。

③ 小山町内に現存する金太郎の実証研究

小山町内に散在するあらゆる金太郎をデータ化し、
マップにしてゲーム等に 活用する

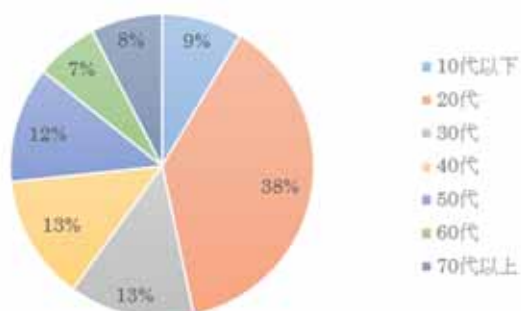


小山町の金太郎の実証研究では、市内各所をくまなく探し、写真撮影した。当初の計画に加えて、小山町内に存在するあらゆる金太郎をCmapperのアプリを活用してマップにした。さらに、そのアプリを活用したデジタルスタンプラリーを試作した。

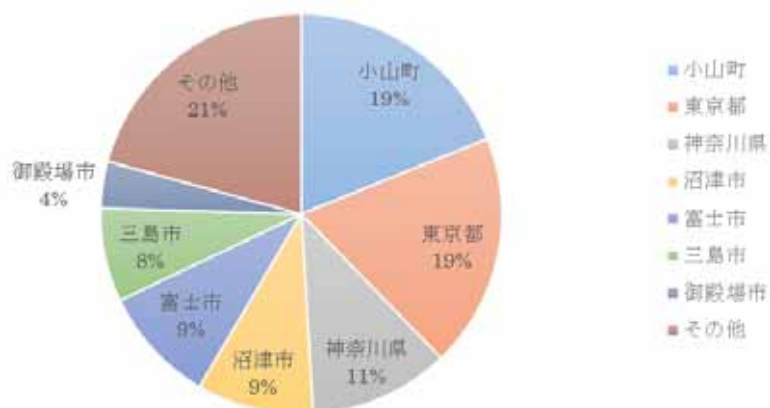
実績・成果と課題

①小山町内の金太郎の認知度調査

クイズの回収数：108件



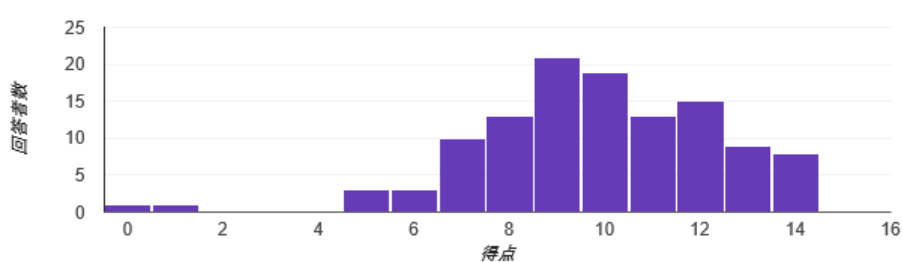
居住地



調査結果（サンプル数 108）

平均 9.82/15 点
中央値 10/15 点

合計点の分布



【うろおぼえ金太郎お絵描き実験】



金太郎（似顔絵）の共通点

- おかっぱ頭
- 腹掛けの形がひし形
- まさかりが意外としっかりかけている
- 眉毛が太い
- 口がにっこりしている
- 大人の金太郎は凛々しい（口がへの字）
- 子供っぽい金太郎は可愛いかんじ
- 目が2つある



【小山町内に現存する金太郎の実証研究】

〈撮影場所〉

道の駅ふじおやま、駿河小山駅
園、小山高校、あしがら温泉、
商店街、交通標識、案内板、バス停、
110番ステッカー

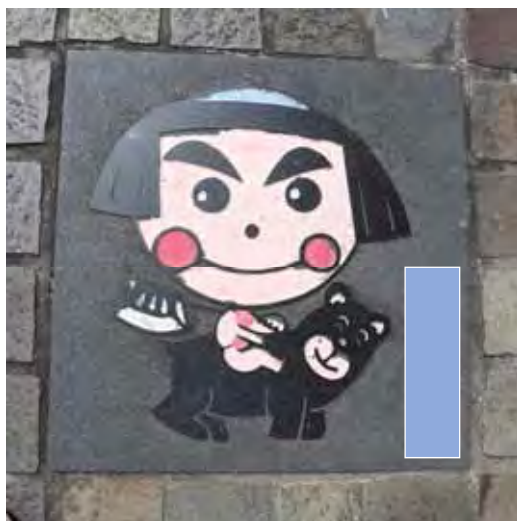
30か所



どこの金太郎でしょうか？



どこの金太郎でしょうか？



どこの金太郎でしょうか？

道の駅ふじおやま



金太郎の統一

研究の成果 （１）当初の計画

町民にとっての日常風景の中でこれまで見落としてきた「金太郎」の情報を整理し、アニメ・ゲームを含めた大学生目線での「金太郎」イメージを活用した宣伝戦略をまとめる。

小山町を全国に発信するためにSNS等で小山町へのアクセスを増やすことで、町民の意識改革を実証し、金太郎への評価につなげる。

【小山町内に現存する金太郎の実証研究】

「小山町金太郎マップ」
Cmapper（アプリ）



今後の改善点や対策

デジタル
スタンプラリー





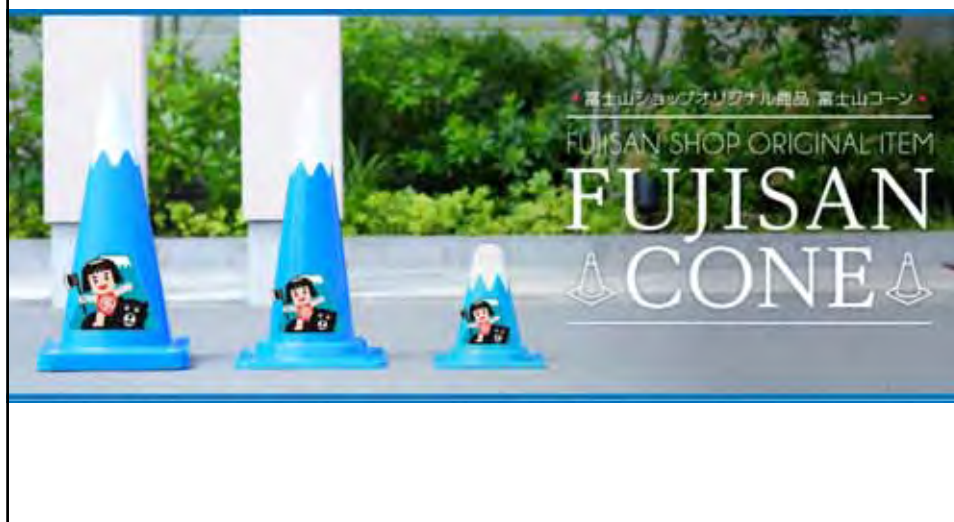
下水道広報プラットフォームHPより
<http://www.gk-p.jp/mhcard/?pref=22>

今後の改善点や対策

◎小山町の至るところに金太郎を！！



道端に、いつも金太郎



道端に、いつも金太郎



小山町 看板変える計画（予定）

Before



After



金太郎の統一

地域への提言

〈調査報告会〉

日付：9月18日

場所：小山町健康福祉会館

参加者：小山町建設部商工観光課 湯山課長、職員の皆様
ふじのくに地域・大学コンソーシアム 大村氏
小山町DMO 浅谷氏



金太郎の統一

えっそうじゅく
鉞創塾 成果発表

(チームI.N.A)

ちょうど

町度いいまち 小山町

—若者に対する住環境P R政策—

(TEAM START)

チャー

小さな山村でネイ町ステイ

—農業を用いた観光交流客数増への挑戦—



**金太郎まちづくり
活動発表大会**

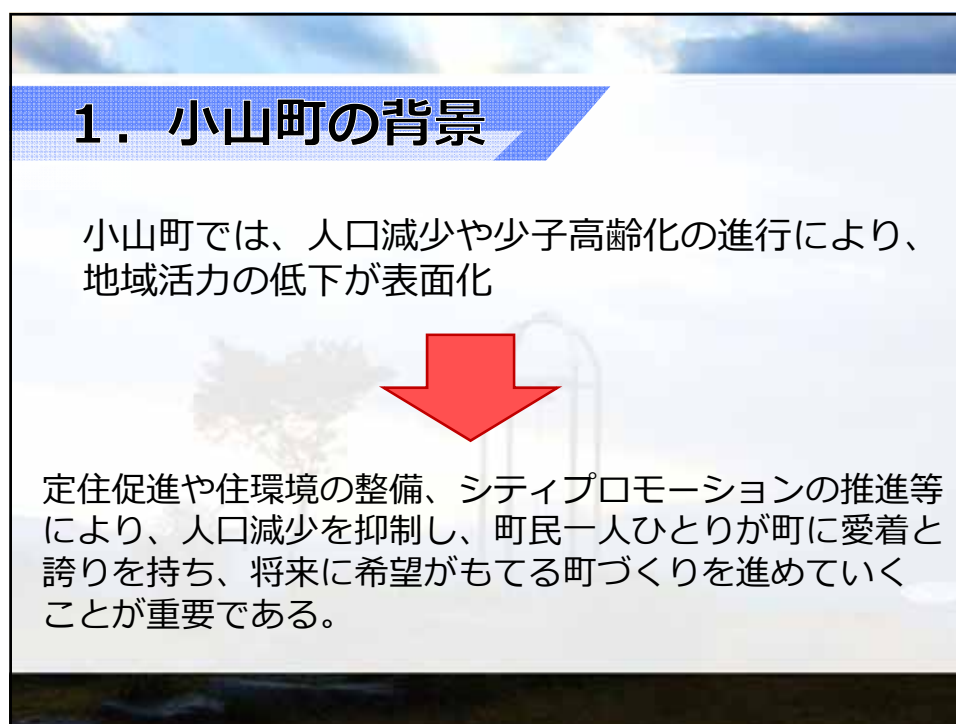
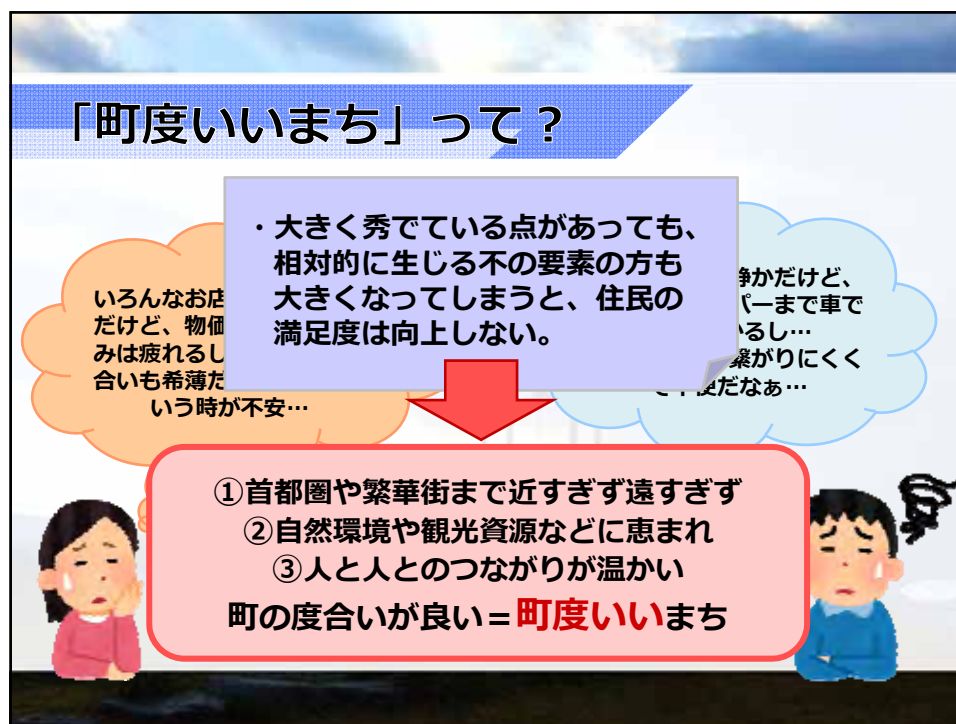
ちょうど

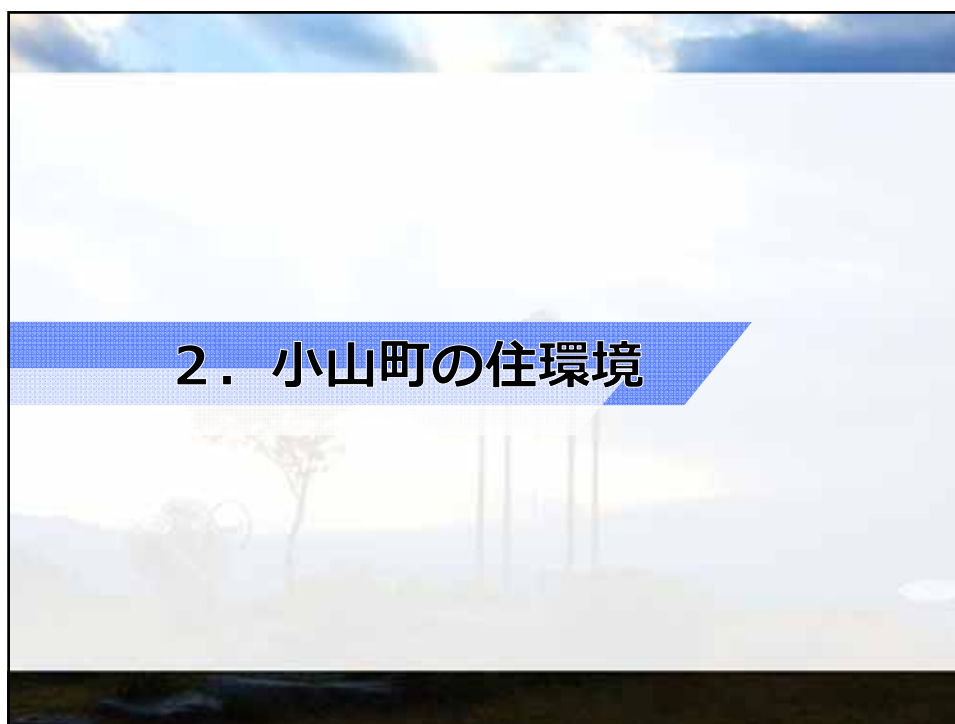
町度いいまち 小山町

—若者に対する住環境P R政策—

<チームI.N.A>

稲・小林・小野・荻原





でも、自分が中・高校生のころを思い返すと・・・

電車やバスの本数が少ない！！
近所に買い物できる店がない！！
みんなで集まれる場所がない！！
車がないと、どこにも行けない！！

➡ 不便に感じるが多かった

若年層の人口流出の一因

実はこんなに近かった！



小山町から車で約1時間以内にある施設

3. 他市町の「ちょうどいいまち」施策

▶ 埼玉県和光市

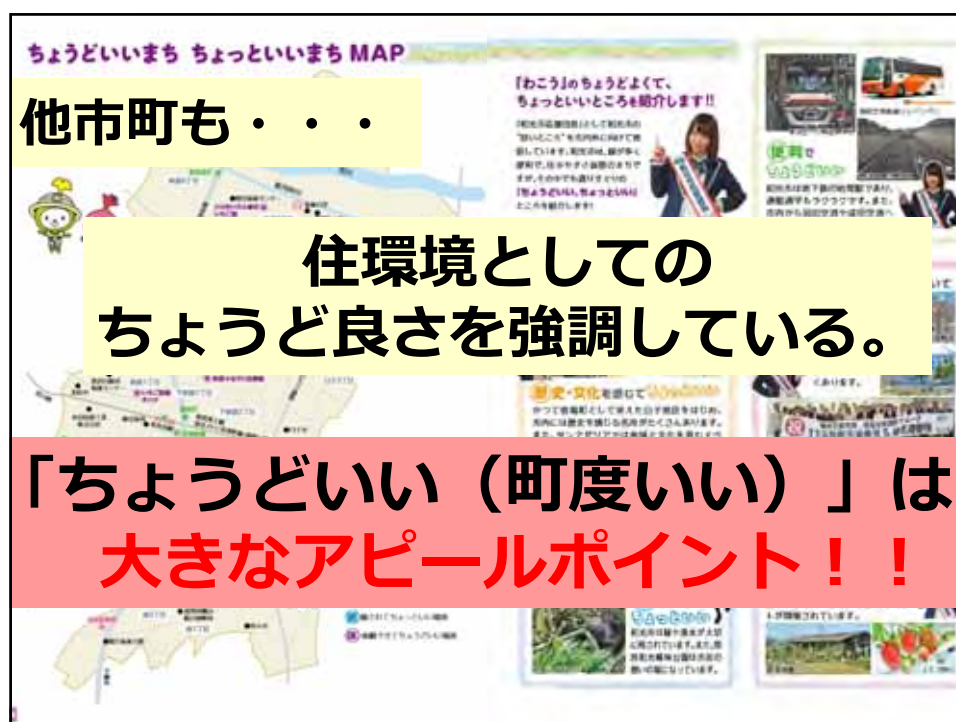
「**ちょうどいいまち** ちょっといいまちMAP」を作成。
市内の歴史・文化や研究施設、自然環境と交通アクセスの良さを紹介。

▶ 愛知県知多市

「**ちょうどいいまち知多**」をシティプロモーションキャッチフレーズに設定。ロゴマークを作成。主要都市までの交通アクセスの良さ、治安、自然、子育てなどの住環境の良さをWEB上でアピール。

▶ 長野県宮田村

宮田村ふるさとCM「**チョットいい、ちょうどいい**」を制作し、Youtubeに公開。移住者の声をWEB上に公開し、自然環境や地域コミュニティの充実度、近隣市町へのアクセスの良さをアピール。



4. 背景：若年層の現状分析

若年層の現状分析

①人口変動の分析

②若年層の意識調査

①人口変動の分析

平成20年度～平成30年度の15歳～25歳の
人口変動を分析

(基準日はいずれも4月1日)

① 人口変動の分析

表1：小山町年齢別人口推移（出典：小山町人口ピラミッド）

	H20年4月1日	H21年4月1日	H22年4月1日	H23年4月1日	H24年4月1日	H25年4月1日	H26年4月1日	H27年4月1日	H28年4月1日	H29年4月1日	H30年4月1日
15歳	220	192	218	196	195	193	199	158	153	167	142
16歳	222	220	188	206	190	191	189	186	153	153	163
17歳	188	221	221	190	208	190	190	191	187	156	152
18歳	219	182	215	215	182	201	186	175	186	178	148
19歳	254	269	226	227	243	182	243	215	220	227	227
20歳	249	259	259	214	228	242	183	226	215	216	219
21歳	293	245	262	252	216	217	249	175	231	225	219
22歳	247	293	229	228	228	197	203	214	169	190	198
23歳	268	247	281	224	248	211	199	207	219	148	204
24歳	223	271	246	258	222	233	209	190	209	204	139
25歳	269	230	264	231	246	209	236	197	177	194	206

 10人以上減少
  10人以上増加

① 人口変動の分析

表2：須走地区年齢別人口推移（出典：小山町人口ピラミッド）

	H20年4月1日	H21年4月1日	H22年4月1日	H23年4月1日	H24年4月1日	H25年4月1日	H26年4月1日	H27年4月1日	H28年4月1日	H29年4月1日	H30年4月1日
15歳	46	44	44	39	38	39	46	26	33	28	25
16歳	41	45	43	41	36	38	37	42	24	33	28
17歳	32	41	44	44	40	36	36	37	41	25	31
18歳	45	32	40	41	38	36	33	28	34	36	22
19歳	98	102	81	68	82	44	88	69	81	84	96
20歳	90	102	96	77	70	81	53	84	75	86	85
21歳	113	92	106	90	84	68	93	56	98	87	96
22歳	74	118	76	86	82	71	67	77	61	82	78
23歳	99	82	116	79	105	81	77	79	87	60	102
24歳	75	95	78	103	86	99	84	73	83	84	60
25歳	88	76	97	74	92	81	110	79	71	79	90

 10人以上減少
  10人以上増加

① 人口変動の分析

表3：須走地区以外年齢別人口推移（出典：小山町人口ピラミッド）

	H20年4月1日	H21年4月1日	H22年4月1日	H23年4月1日	H24年4月1日	H25年4月1日	H26年4月1日	H27年4月1日	H28年4月1日	H29年4月1日	H30年4月1日
15歳	174	148	174	157	157	154	153	153	153	153	153
16歳	181	175	145								
17歳		157	163	137	158	161	130	142	140	130	134
18歳											
19歳											
20歳											
21歳	180	153	156	162	132	149	156	119	133	138	123
22歳	173	175	153	142	146	126	136	137	108	108	120
23歳	169	165	165	145	143	130	122	128	132	88	102
24歳	148	176	168	155	136	134	125	117	126	120	79
25歳	181	154	167	157	154	128	126	118	106	115	116

 10人以上減少
  10人以上増加

就職を機に町を出ていく人が多い

② 若年層の意識調査

- ▶ 対 象：町内各中学校3年生及び
県立小山高校の1～3年生
- ▶ 調査方法：アンケートの実施
- ▶ 回答者数：中学生…138人
(小山中73人、北郷中38人、須走中27人)
高校生…430人
(1年生117人、2年生156人、3年生157人)
合計…568人

30

② 若年層の意識調査

Q 4 .小山町に住みたい（住み続けたい）ですか？
住みたい・どちらでもない・住みたくない

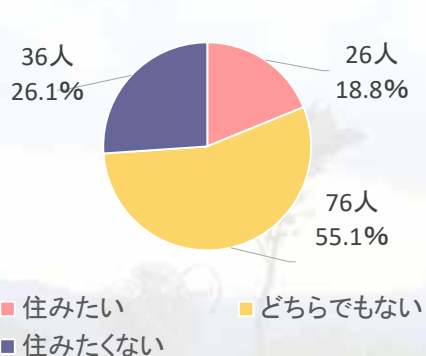


図3：Q4回答結果（中学校）

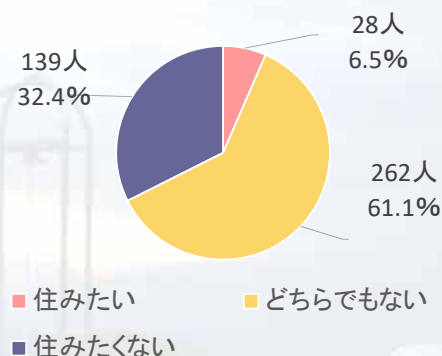


図4：Q4回答結果（小山高校）

② 若年層の意識調査

Q 1 と Q 4 の結果分析

表7：Q1とQ4の回答結果（中学校）

	住みたい	どちらでもない	住みたくない
Q1:好き (63人)	24	32	7
Q1:どちらでもない(67人)	2	42	23

表8：Q1とQ4の回答結果（小山高校）

	住みたい	どちらでもない	住みたくない
Q1:好き (162人)	26	111	24
Q1:どちらでもない(255人)	2	148	105

「小山町が好き」なのに「住みたい」人が少ない！

② 若年層の意識調査

Q2. Q1で回答した理由を教えてください。

好き

- ・ 自然が豊か
- ・ 人が温かい
- ・ 静か
- ・ 東京に近い
- ・ 治安がいい

どちらでもない

- ・ 町内に店が少ない
- ・ 交通が不便
- ・ 特徴がない
- ・ 小山町をよく知らない

嫌い

- ・ 町内に店がない
- ・ 交通が不便
- ・ 田舎すぎる
- ・ 何もない

② 若年層の意識調査

Q5-1. Q4で住みたい（住み続けたい）と回答した方は理由を教えてください。

- ・ 自然が豊か
- ・ 穏やか
- ・ 治安が良い
- ・ 人が温かい
- ・ 人が多すぎず、交通もそこそこ便利
- ・ 若いときは別の都市で暮らしたいが、60歳くらいからまた住みたい
- ・ 住み慣れている

② 若年層の意識調査

Q5-2. Q4で住みたくないと回答した方に伺います。

(1) 小山町に住みたくない理由を教えてください。

(2) 住むとしたらどこに住みたいですか？

(1)

- ・ 町内に店がない
- ・ 交通が不便
- ・ 働き先がない
- ・ 都会に行ってみたい
- ・ 小山町以外の場所に住んで
小山町の良さを再認識したい

(2)

- ・ 東京
- ・ 神奈川
- ・ 都市部
- ・ アメリカ
- ・ 長泉
- ・ 御殿場

② 若年層の意識調査

Q2・Q5の結果分析

① 町内に店がない、交通が不便などの

日常生活・娯楽に対する不満

② 特徴がない、小山町をよく知らないなどの

小山町に関する知識不足

② 若年層の意識調査

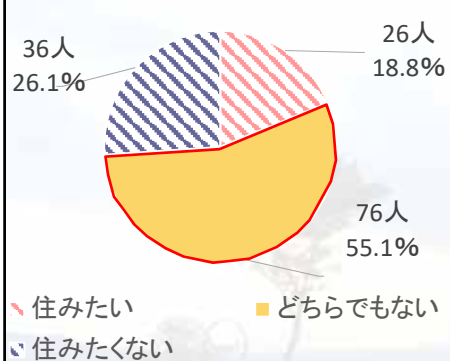
小山町は好きだが、住みたいと思う者が少ない



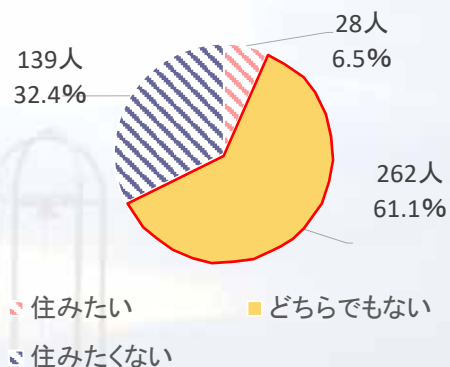
① 町内施設の少なさに対する不満

② 小山町に関する知識不足

分析結果

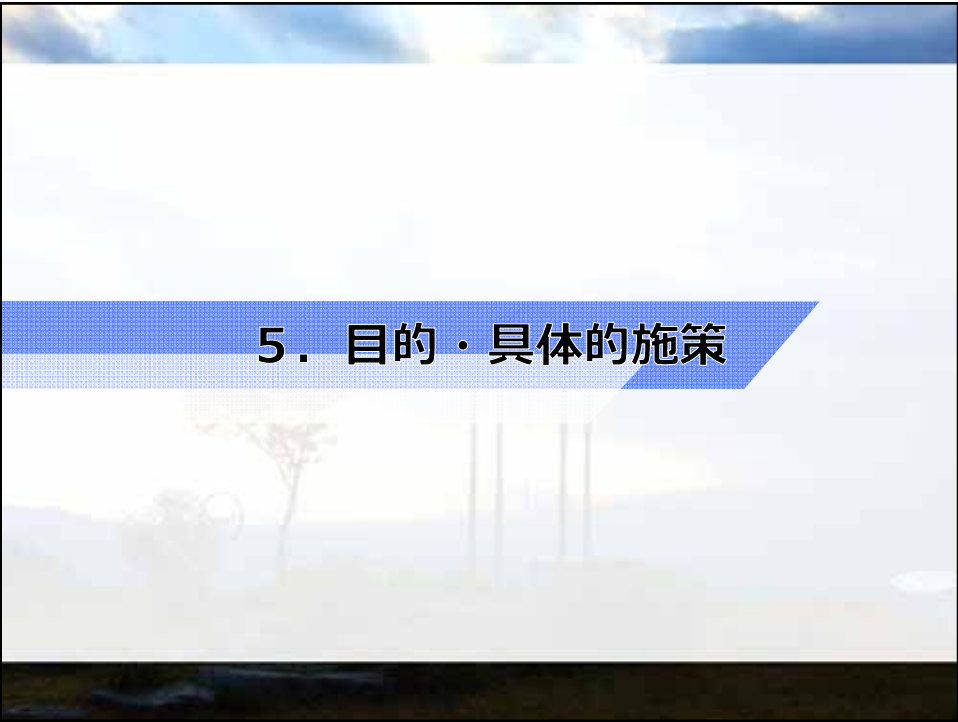


【再掲】図3：Q4回答結果（中学校）



【再掲】図4：Q4回答結果（小山高校）

「どちらでもない」層に小山町に住みたいと思ってほしい！



5. 目的・具体的施策

現状分析から、中学・高校生の小山町に関する認識の不足と、日常生活を送る上での不便さを感じていることが推測できた。

目的

中学・高校の若年層に、**小山町の住環境としての魅力を認識・再認識**してもらい、**小山町に住みたい、住み続けたい、一度小山町を離れてもまた戻ってきたい**と感じてもらう。

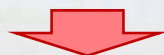
具体的施策

小山町・御殿場市をめぐるツアーの実施

ねらい

小山町にある施設や名所等をめぐり、実際に若年層に**小山町の魅力**（自然、景観、観光etc…）を体感してもらう。

また、近隣（御殿場市）の商業施設等も併せてめぐる事で、小山町周辺の生活環境が整っていることを再認識してもらい、車を利用すればこれらの施設にも容易に行ける、という**利便性を体感**してもらう。



「ちょうど良さ」を実感してもらう

チームI.N.Aフレゼンツ 「おやまちっく☆ツアー」



順番	場 所	移動距離 (概算)
1	小山高校	—
2	足柄BBQガーデン	1.3km
3	足柄SA上り	3.6km
4	御殿場プレミアムアウトレット	2.8km
5	道の駅ふじおやま	6.2km
6	移住者と交流（一色）	1.8km
7	雪いの丘	8.0km
8	小山高校	7.6km
合計 2時間15分程度		総距離 29km程

ツアー実施方法

実施主体	小山町
実施対象	小山高校 1・2年生 男女各3名 計6名
実施場所	町内及び御殿場市(ルート表参照)
日 時	2月20日(水)
経費等	公用車(セレナ)使用・ガソリン代、アンケート用紙・印刷費等
手続き等	高校を通じた参加者募集、公用車の確保、訪問先日程調整
その他	小山町に関する知識を深めてもらうために、車内でできる簡単なクイズ形式の小山町豆知識を準備した。 高校生が自身のSNS等へ発信することも考慮し、投稿する際に使用するハッシュタグ(#富士山、#おやまちっくツアー、#金太郎、等)をあらかじめ用意した。

成果指針

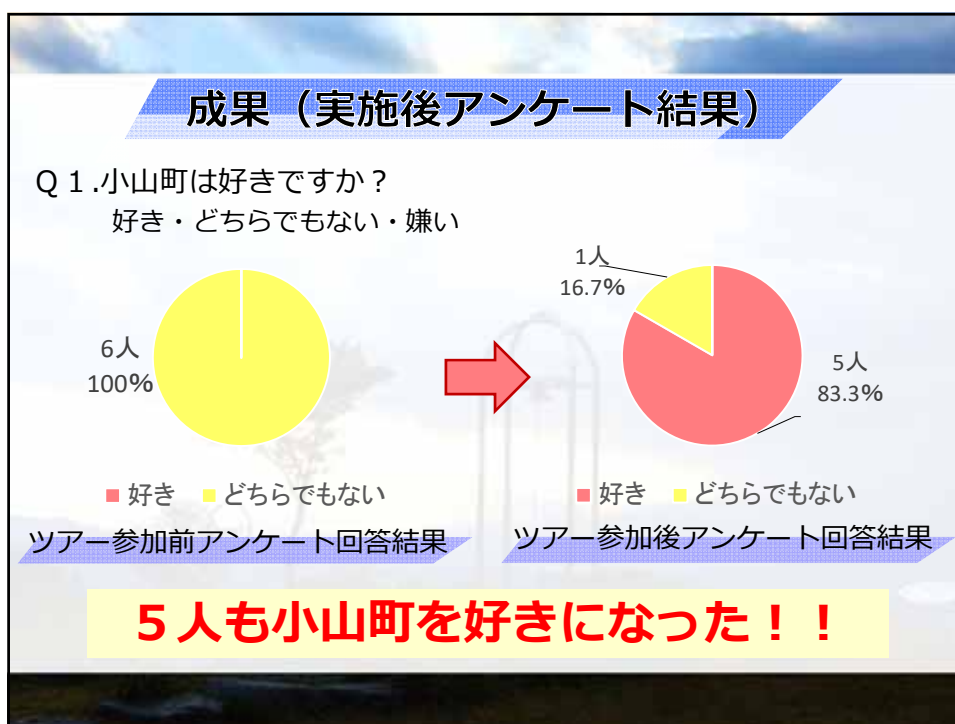
ツアー参加者に参加後アンケートを実施。
現状分析で実施したアンケートと同等の項目を設定し、**現状分析アンケートと比較した際の評価の変動割合**を成果指針とする。



「小山町に住んでみたい(住みつづけたい)」
「小山町が好き」と回答した若者の割合が増加すれば、
本施策が若者の流出を防ぐ手立てとして効果的である、
と言える。

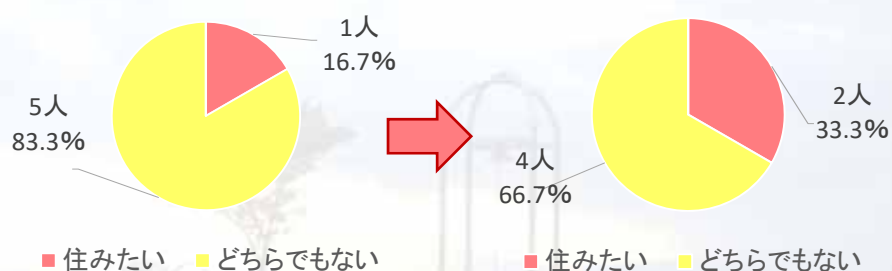


ツアー風景



成果（実施後アンケート結果）

Q 2. 小山町に住みたい（住み続けたい）ですか？（いずれか1つに○）
住みたい・どちらでもない・住みたくない



小山町に住みたい人が1人増えた！！

成果（実施後アンケート結果）

Q 4. 今回のツアーを通じて、小山町の住環境としての良さを
感じましたか？

感じた・どちらでもない・感じなかった



参加者の満足度（好感）100%！！

■ 感じた

ツアー参加後アンケート回答結果

成果と今後の課題

▶ 成果

若年層に小山町の魅力を伝えることが、**今後の人口減少を食い止める可能性がある**ことが証明された。

☆ 現在の町の取り組み ☆

- ・ ファンタスティックバスツアー・・・三来拠点事業の現場をめぐる
- ・ 1 DAY ・ 1 SET・・・移住を検討する大人を対象としている



新規性・必要性の面から、本ツアーを新しい施策として**定期開催**する必要があると考える。

今後の課題（継続的な実施のために）

- ▶ 開催時期の選定
- ▶ 学校との連絡調整
- ▶ ガイドの育成
- ▶ 学校側へのツアーのメリットの提示
- ▶ ツアー先との連携

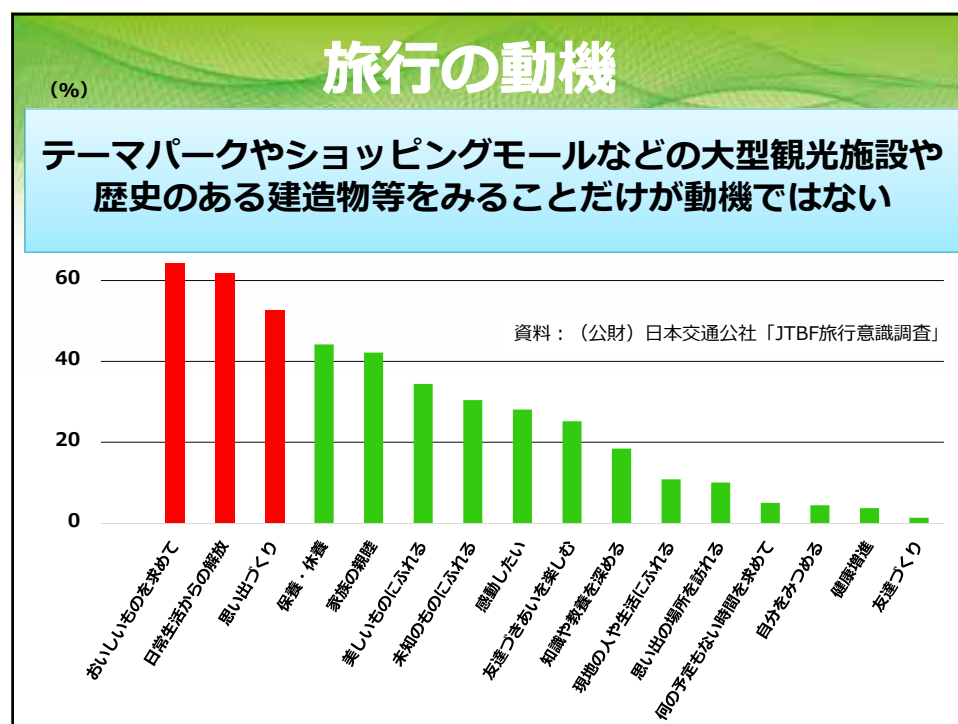


71

チャー
小さな山村でネイ町ステイ
～ 農業を活かした観光交流客数増への挑戦 ～

TEAM START
小野 藤曲 高橋 新井 土屋

皆さんは旅行に何を求めますか？



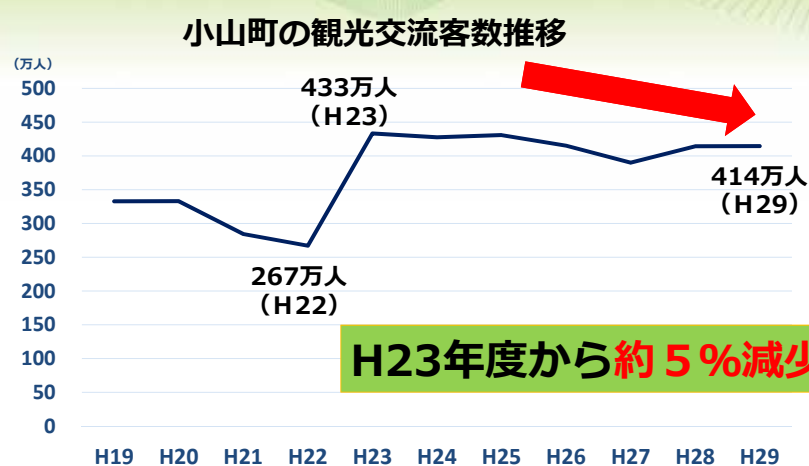
61

県内の観光客は緩やかに増加傾向



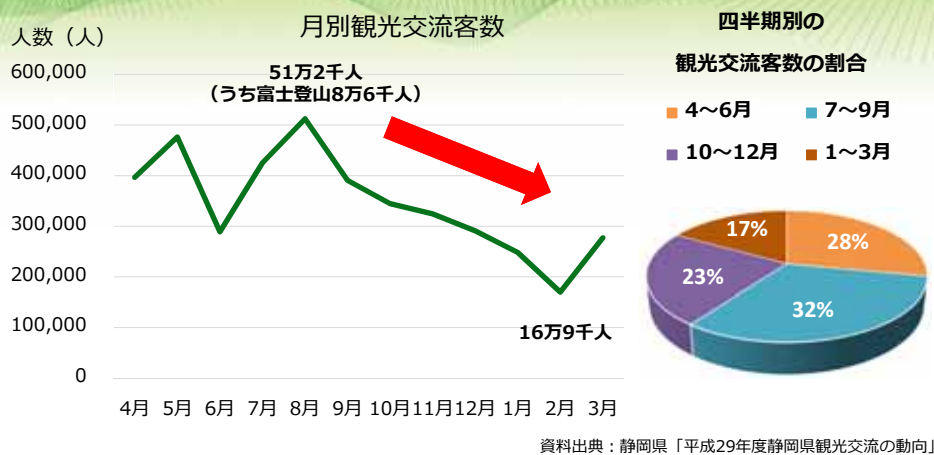
資料出典：静岡県「平成29年度静岡県観光交流の動向」

小山町の観光客数は年間約414万人



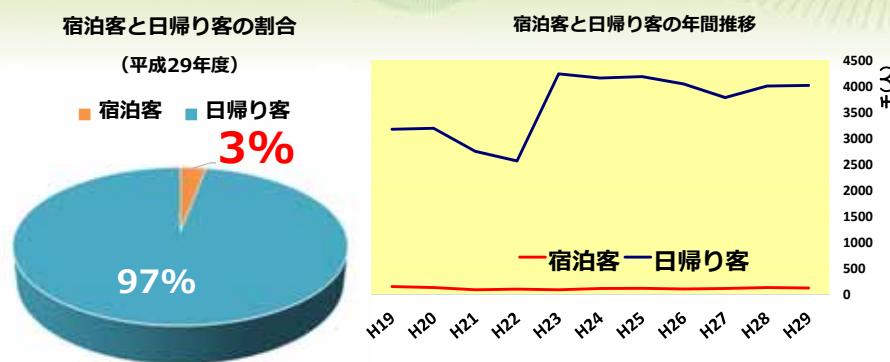
資料出典：静岡県「平成29年度静岡県観光交流の動向」

町内の月別観光客数



8月以降に減少している

町内の宿泊客と日帰り客の割合



観光客のほとんどが日帰りで訪れている

小山町の観光における課題

課題 ①

小山町の**地域資源**を用いて
観光客を増やすことは
できないだろうか？

宿泊客を増やすには？



富士山
世界遺産登録

富士スピードウェイ
オリンピック
東京2020大会開催

金太郎
イベントで大活躍

米
ブランド米で
人気上昇

水かけ菜
冬の特産品
贈り物で人気

小山町の観光・地域資源と言えは
何を思い浮かべますか？

小山町の農産物は人気が高いが…

●ごてんばこしひかり

「量より質に」 **良味米の生産とブランド化**に取り組む。
減化学肥料や減農薬で育てられたエコ栽培米は、
全国の百貨店や高級料亭に卸されているほか、
ファーストクラスの機内食にも採用された。



**2018年米コン
最高金賞**

遠藤博雄さん（用沢）

➡ **米農家が5年間で8%減少**

●水かけ菜漬

- 県内外からの問い合わせや注文が多数
- 水かけ菜生産組合の水かけ菜漬が
「しずおか食セレクション」に認定



➡ **作付け面積が3年間で27%減少**

農業は重労働…



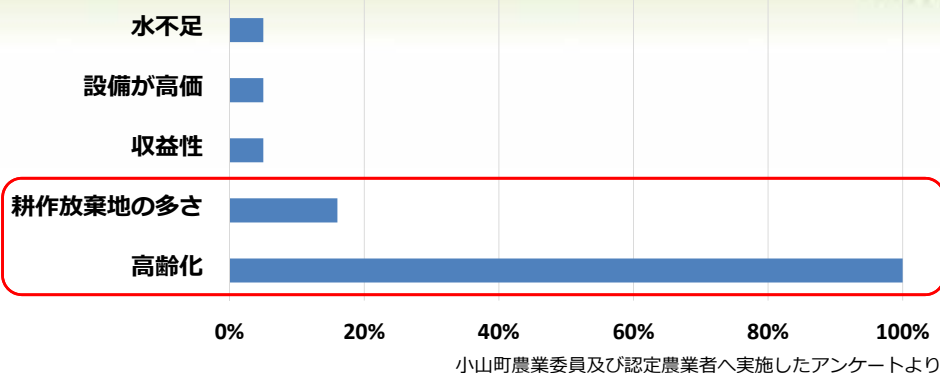
北郷地区 S さん（70代）

水かけ菜は一本一本手摘み。
歳もとって、収穫が大変・・・
息子夫婦は土日勤めだから人手が足りない。
長年作ってきたのに、
残念だけど今年でやめることにしたよ。
手伝ってくれる人がいればなあ・・・



今年で最後の S さんの水かけ菜田

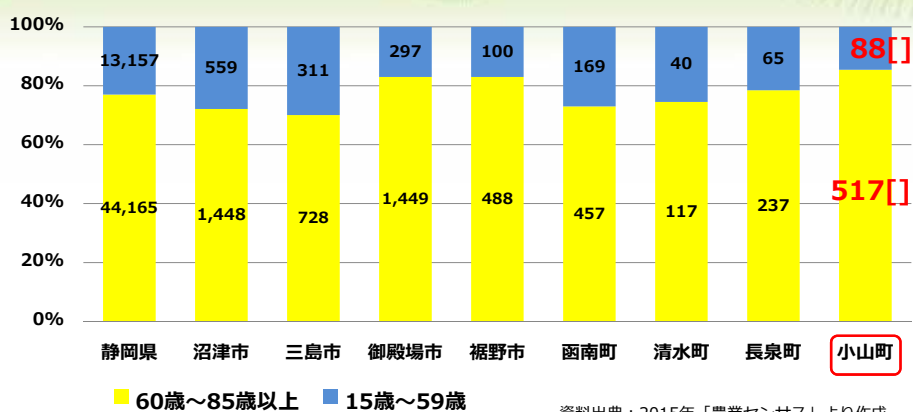
小山町の農業にも問題が…



農業就業者の高齢化・耕作放棄地の多さが課題

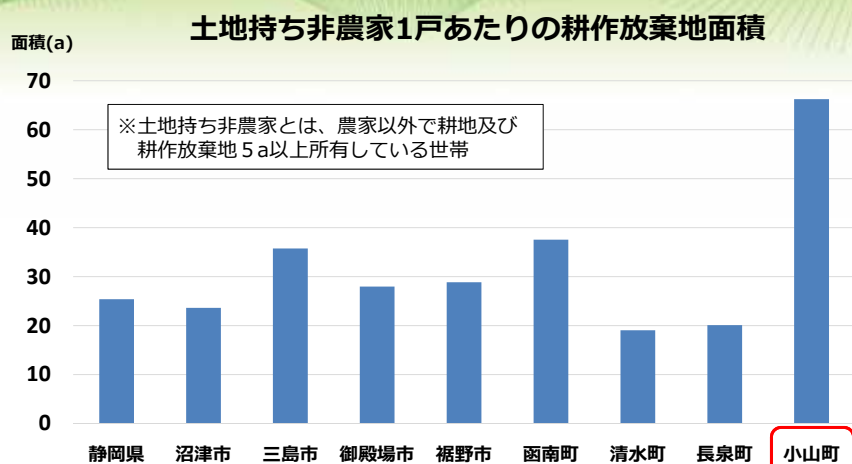
農業の現状① 高齢化

静岡県及び近隣市町の年齢別農業就業人口



町内の農業就業者は約85%が60歳以上

農業の現状② 耕作放棄地



約66aは 近隣市町の約2倍の面積

「観光」と「農業」の連携

観光 × 農業

- ・ 冬季の観光客減少
- ・ 日帰り客が多い

- ・ 農業就業者の高齢化
- ・ 耕作放棄地の増加



「農泊」って何・・・？

農山漁村滞在型旅行

農泊とは、農山漁村で日本の伝統的な**生活体験**と農村地域の**人々との交流を楽しむ**、農家民宿、古民家などを活用した宿泊施設など多様な宿泊手段により**その土地の魅力を味わってもらう滞在型の旅行**。

農泊に期待できる効果

- 観光業による農村地域の活性化
- 農業労働力不足の解消と耕作放棄地の削減
- 都市部からの観光客による定住・交流人口の拡大

観光客にとっての「農泊」の魅力

① 「泊まる」

農家や空家となった古民家などで地域のひととの語らいや郷土料理づくりを体験

② 「味わう」

地元の食材を使った料理を堪能

③ 「買う」

地元で採れた新鮮な野菜・加工品を購入

④ 「楽しむ」

田植えや稲刈り、山菜摘みなどの農業体験から蕎麦打ちなどそれぞれの地域の魅力を堪能



地域にとっての「農泊」の魅力

① 観光客の増加

農村のありのままが人気
リピーターも多い

② 農家所得の向上

農泊や体験プログラムの受入れ
により副業収入が向上

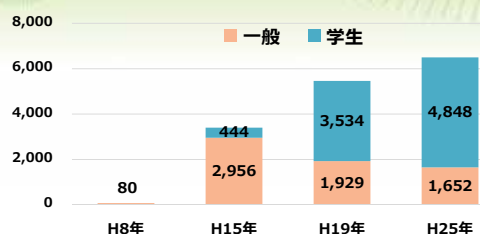
③ インバウンドの取込

増加する訪日外国人にとっても
日本の農業は魅力的

④ 遊休資源の活用

体験プログラムを提供するために
耕作放棄地や遊休農地を利用

大分県安心院地区（人口7,000人）農泊利用者



農泊が観光主要政策に位置づけ

「明日の日本を支える観光ビジョン」概要

農山漁村の体験型宿泊を
2020年までに
ビジネスとして展開

当初50地域を目標

↓

平成28年に目標を
10倍の500地域
へ上方修正

出典：観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（平成28年3月）

県内の農泊の取り組み(函南町) ～オラッチェの視察でわかったこと～



オラッチェへ視察（2月5日）

函南町丹那地区

基幹産業：「丹那牛乳」で有名な酪農
堆肥で栽培した「函南野菜」が好評 ブランド化
輸入飼料の高騰、後継者の減少や高齢化が進む
⇒10年間で酪農農家が12軒減少（現在10軒）
出荷量も最大時より35%減少
夏季以外の来客者の減少が課題

酪農王国(株)オラッチェが 函南町農泊推進協議会を設立

- ① **丹那の強みを活かした**酪農を軸に『農泊』を事業化
年間を通じた集客力の強化を図っている
- ② 地元の酪農者や農家、行政、農協、企業など
**地域との連携をより強めて、さまざまな体験・観光
プログラムなどの開発**を進めている



町内でも農泊がはじまる

農家民宿 **このはな** をはじめた 杉山さんに伺いました

Q 始めたきっかけは？

A 農業＋何かがやりたかった

Q どんなお客さんが来ますか？

A 東京・大阪など都市部の人
家族連れや夫婦 など

Q 体験メニューを教えてください

A 野菜の収穫、味噌づくり体験
かんざらし、ほうじ茶 など



Q 今後の予定は？

A ホームページの制作
ノルディックウォークをとりいれたい

Q 大変なことは？

A 天候に左右されることがある

Q 今後の課題は？

A 農泊の認知度を上げたい
農泊を始める人が増えたら心強い

杉山さんの農泊は笑顔がいっぱい

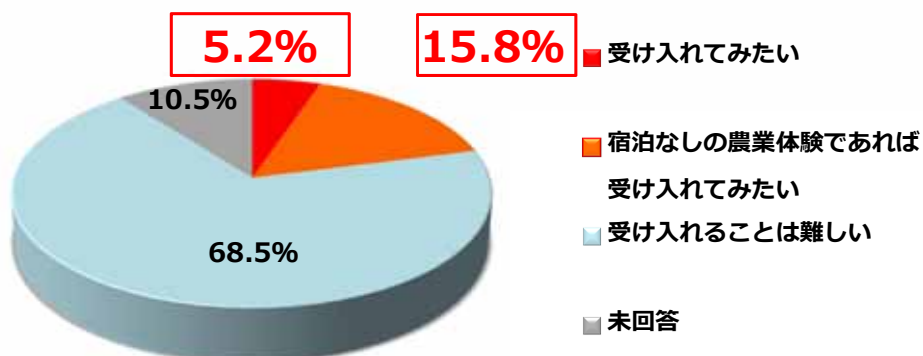


農泊は **大人が安心して子どもに帰れる場所**

町内の農業者にアンケートを実施

Q：農泊を実施して、旅行者を受け入れてみたいと思いますか？

小山町農業委員会及び小山町認定農業者へ実施したアンケートより



受け入れてみたいとの声もある

農泊を新たな観光ツールにする にはどうしたらよいか？

小山町DMO室※に提案しました

※Destination Management Organization・・・

観光物件、自然、食など当該地区にある観光資源に精通し
地域と共同して観光地域づくりを行う法人

- 地域を活用した推進協議会の設立
- 受入れ体制を整備
- 町の魅力あるメニュー開発
- 効果的な情報発信
- 持続可能な仕組みづくり

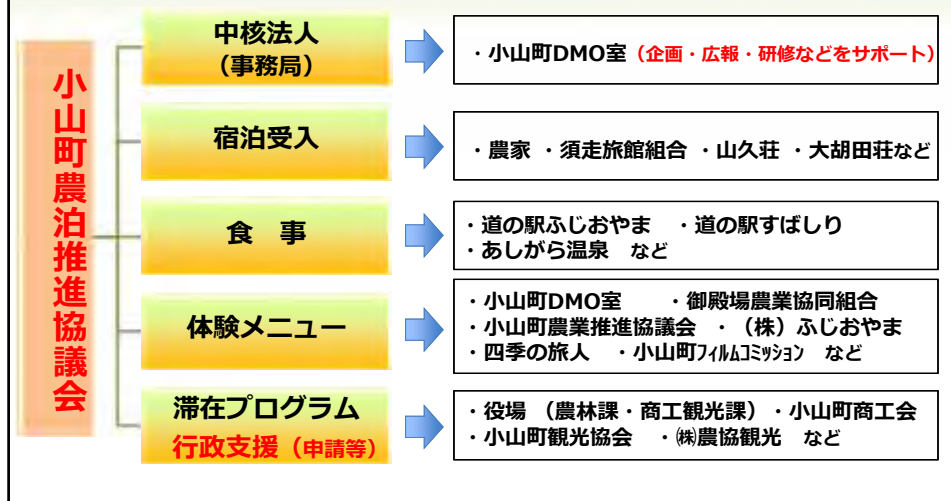
提案 1 小山町農泊推進協議会の設立



資料出典：農林水産省農村振興局「農泊の推進について」

地域の多様な関係者が連携して参加することが重要

提案 1 小山町農泊推進協議会の設立



提案 2 受入れ体制の整備

～現 状～

分かりにくい

手間がかかる

旅行者

申し込み
支払など

宿泊

民宿・旅館
(団体客)

食事

道の駅
町内飲食店

農業者A

農泊

農業者B

農業体験

申込みから当日対応まで旅行者と受け入れ側が
全て個々 (バラバラ) で行っている

提案2 受入れ体制の整備 ～ワンストップ窓口の設立～



提案3 四季折々のパッケージ開発 ～小山町の「豊かな自然」で感動を～

■ターゲット

- ・ 農業体験に興味があるファミリー客
- ・ 首都圏の学生(教育旅行・修学旅行など)
- ・ 陸上自衛隊富士学校勤務者の家族(福利厚生など)
- ・ 訪日外国人(インバウンド)



■目指す姿

地域資源を最大限に活用して交流人口を拡大

提案3 四季折々のパッケージ開発 ～春の体験観光プラン～

宿泊施設泊（1泊2食付）

田植え体験



（都内の小学生が町内で田植えを体験）

小富士&幻の滝ハイキング

■春プラン：教育旅行向け

<1日目>

12:00 小山町着（昼食）
13:00～ 農業学習
14:00～ 田植え体験
17:30～ 宿泊施設（旅館）着
18:00～ 夕食

<2日目>

7:00～ 朝食
9:30～ 小富士&幻の滝ハイキング
12:00 小山町発



湯船・所領地区、農協の協力により2校を受入れ

提案3 四季折々のパッケージ開発 ～冬の体験観光プラン～

農家泊（1泊3食付）

水かけ菜収穫&漬け込み体験



天体観測&温泉

そば打ち体験

■冬プラン：個人客向け

<1日目>

10:30～ 水かけ菜収穫
12:00～ 昼食（お弁当）
13:00～ 水かけ菜漬け込み体験
17:00 夕食（郷土料理づくり）
18:30～ 天体観測（望みの丘）



19:30～ 温泉（あしがら温泉）
20:30～ 農家泊・団らん

<2日目>

9:00～ そば打ち体験（昼食）
13:00～ 帰宅

提案3 四季折々のパッケージ開発

～ 夏・秋の体験観光素材 ～



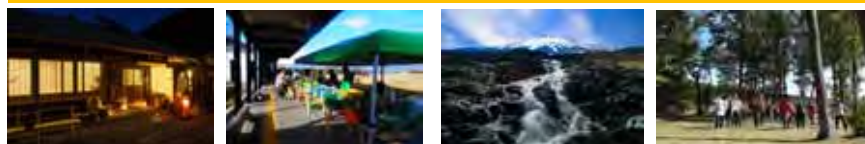
提案3 四季折々のパッケージ開発

～小山町の年間体験プログラム～

春	夏	秋	冬
田植え	親子DE どんぶらこ	稲刈り	水かけ菜収穫 漬け込み体験
お茶摘み 山菜天ぷらづくり	富士山一斉清掃	干し柿づくり	もちつき
富士山幻の滝 ハイキング	夏野菜と 流しそうめん	日の出と 新米おむすび	天体観測 (誓いの丘)



「泊まる」・「味わう」・「買う」・「観る」・「楽しむ」



季節と資源の組み合わせでパッケージの
可能性は無限大∞

提案4 プロモーション戦略

① テレビ・新聞・雑誌等に

② ポスター・ちらしの作成

③ ICTを活用 ホームページ（町・農泊ポータルサイト）SNS（Facebook・Twitter・Instagram）

④ 企業の福利厚生（単身者などの家族を呼び込み）

⑤ ふるさと納税の返礼品
（寄附金額3万円～）



⑥ 小山町公認インスタグラマー



hiromi tomii

提案5 利益の分配



利益を配分することで、
農泊が持続可能となる仕組みを構築できる

提案5 利益の分配

～農泊による年間収入(試算)～

1か月に2家族(親子4人)を受けた場合・・・ ※年間96人を想定

項 目		単 価	年間合計	説 明
収 入	宿泊料 (1泊2食)	大 人 7,000円	624,000円	52,000円/月×12月
		こども 6,000円		
	体験料 (農業体験)	大 人 2,000円	144,000円	12,000円/月×12月 ※観光ボランティアや 農村活性化センターなどは別途料金
		こども 1,000円		
収入合計（A）			768,000円	
支 出 (経費)	食材費		153,600円	(収入合計の20%)
	光熱水費	200円	19,200円	水道・電気・ガス代
	通信費	100円	2,400円	電話・葉書代など（24箇所）
	保険料		16,600円	農家民宿賠償保険7,000円/年 宿泊者傷害保険@100円×96人
	衛生費		28,800円	クリーニング代ほか
	手数料		62,400円	協議会へ（宿泊料の10%）
支出合計（B）			283,000円	
収益（A）－（B）			485,000円	月平均 40,416円

小山町の農泊がもたらす効果

農 泊

受入れ体制の整備

魅力ある
メニュー開発

効果的な
情報発信

持続可能な
仕組みづくり

～最後に～

地域一体となった取組み

観光交流客数の増加

**みなさんも小山町の観光を
一緒に盛り上げていきませんか
ご清聴ありがとうございました**

